

斜面对策工維持管理実施要領－正誤表

その 1 (平成 29 年 11 月 24 日現在)

頁	誤	正																																																																																										
325	「総合判定の方法は、 <b>5.4.6</b> 項において記述する」	「総合判定の方法は、 <b>5.4.5</b> 項において記述する」																																																																																										
355	「・・・画像をつなぎ合わせて <b>図 5.5.7</b> のスケッチのような展開画像・・・」	「・・・画像をつなぎ合わせて <b>図 5.5.5</b> のスケッチのような展開画像・・・」																																																																																										
597	<p>表 6.7.2 GNSS 観測手法の種類 (Shamen-net 研究会, 2010)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>従来タイプ I</th> <th>従来タイプ II</th> <th>従来タイプ III</th> <th>Shamen-net</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置例</td> <td> 例) 電の基地すべり</td> <td> 例) 譲原地すべり</td> <td> 例) 由比地すべり</td> <td> 例) 長者地すべり</td> </tr> <tr> <td>概要</td> <td>測量用 GNSS 機器を流用して自動化した初期の GPS 自動計測システム。</td> <td>比較的新しい GNSS 機器。ソーラ・バッテリー電源で稼動するがデータは手動回収。自動回収に変更すると別途電源・機器の増設必要。</td> <td>比較的新しい GNSS 機器。ソーラ・バッテリー電源で稼動するがデータは手動回収。自動回収に変更すると別途電源・機器の増設必要。</td> <td>最新の地盤変位計測用 GNSS 機器。小型・軽量・安価。現場に PC 必要なく、インターネットで結果配信される。最新の誤差処理技術で最も高精度。</td> </tr> <tr> <td>データ回収</td> <td>専用回線</td> <td>手動回収</td> <td>手動回収</td> <td>電話・携帯・LAN</td> </tr> <tr> <td>解析方法</td> <td>スタティック測定</td> <td>スタティック測定</td> <td>スタティック測定 + トレンド処理 (手動)</td> <td>スタティック測定 + トレンド処理 (自動)</td> </tr> <tr> <td>機器仕様システム構成</td> <td>1 周波 GNSS 受信機現地 PC に設置の解析ソフトで自動解析。</td> <td>1 周波 GNSS 受信機手動回収されたデータを事務所所持り PC の解析ソフトで手動解析。</td> <td>1 周波 GNSS 受信機手動回収されたデータを事務所所持り PC の解析ソフトで手動解析。</td> <td>1 周波 GNSS 受信機自動でインターネット上のサーバで解析作図。インターネットで結果配信。</td> </tr> <tr> <td>計測精度</td> <td>±5mm~10mm程度</td> <td>±5mm~10mm程度</td> <td>±1mm~1.5mm</td> <td>±1mm~1.5mm</td> </tr> <tr> <td>センサー費用</td> <td>買収: 数 100 万/台 損料やレンタル: 不可</td> <td>買収: 約 200 万/台 損料やレンタル: 不可</td> <td>買収: 約 200 万/台 損料やレンタル: 不可</td> <td>買収: 数 10 万/台 損料やレンタル: 2 万円/月台</td> </tr> <tr> <td>総評</td> <td>精度不足。コスト高い。自動だが、解析 PC の維持管理が面倒。</td> <td>精度不足。ややコスト高い。手動のため不可。</td> <td>精度 OK。ややコスト高い。手動のため不可。</td> <td>精度 OK。コスト比較的安価。損料・レンタルも可。自動で便利。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	従来タイプ I	従来タイプ II	従来タイプ III	Shamen-net	設置例	 例) 電の基地すべり	 例) 譲原地すべり	 例) 由比地すべり	 例) 長者地すべり	概要	測量用 GNSS 機器を流用して自動化した初期の GPS 自動計測システム。	比較的新しい GNSS 機器。ソーラ・バッテリー電源で稼動するがデータは手動回収。自動回収に変更すると別途電源・機器の増設必要。	比較的新しい GNSS 機器。ソーラ・バッテリー電源で稼動するがデータは手動回収。自動回収に変更すると別途電源・機器の増設必要。	最新の地盤変位計測用 GNSS 機器。小型・軽量・安価。現場に PC 必要なく、インターネットで結果配信される。最新の誤差処理技術で最も高精度。	データ回収	専用回線	手動回収	手動回収	電話・携帯・LAN	解析方法	スタティック測定	スタティック測定	スタティック測定 + トレンド処理 (手動)	スタティック測定 + トレンド処理 (自動)	機器仕様システム構成	1 周波 GNSS 受信機現地 PC に設置の解析ソフトで自動解析。	1 周波 GNSS 受信機手動回収されたデータを事務所所持り PC の解析ソフトで手動解析。	1 周波 GNSS 受信機手動回収されたデータを事務所所持り PC の解析ソフトで手動解析。	1 周波 GNSS 受信機自動でインターネット上のサーバで解析作図。インターネットで結果配信。	計測精度	±5mm~10mm程度	±5mm~10mm程度	±1mm~1.5mm	±1mm~1.5mm	センサー費用	買収: 数 100 万/台 損料やレンタル: 不可	買収: 約 200 万/台 損料やレンタル: 不可	買収: 約 200 万/台 損料やレンタル: 不可	買収: 数 10 万/台 損料やレンタル: 2 万円/月台	総評	精度不足。コスト高い。自動だが、解析 PC の維持管理が面倒。	精度不足。ややコスト高い。手動のため不可。	精度 OK。ややコスト高い。手動のため不可。	精度 OK。コスト比較的安価。損料・レンタルも可。自動で便利。	<p>表 6.7.2 GNSS 観測手法の種類 (Shamen-net 研究会, 2010)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>従来タイプ I</th> <th>従来タイプ II</th> <th>従来タイプ III</th> <th>Shamen-net</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置例</td> <td> 例) 電の基地すべり</td> <td> 例) 譲原地すべり</td> <td> 例) 由比地すべり</td> <td> 例) 長者地すべり</td> </tr> <tr> <td>概要</td> <td>測量用 GNSS 機器を流用して自動化した初期の GPS 自動計測システム。</td> <td>比較的新しい GNSS 機器。ソーラ・バッテリー電源で稼動するがデータは手動回収。自動回収に変更すると別途電源・機器の増設必要。</td> <td>比較的新しい GNSS 機器。ソーラ・バッテリー電源で稼動するがデータは手動回収。自動回収に変更すると別途電源・機器の増設必要。</td> <td>最新の地盤変位計測用 GNSS 機器。小型・軽量・安価。現場に PC 必要なく、インターネットで結果配信される。最新の誤差処理技術で最も高精度。</td> </tr> <tr> <td>データ回収</td> <td>専用回線</td> <td>手動回収</td> <td>手動回収</td> <td>電話・携帯・LAN</td> </tr> <tr> <td>解析方法</td> <td>スタティック測定</td> <td>スタティック測定</td> <td>スタティック測定 + トレンド処理 (手動)</td> <td>スタティック測定 + トレンド処理 (自動)</td> </tr> <tr> <td>機器仕様システム構成</td> <td>1 周波 GNSS 受信機現地 PC に設置の解析ソフトで自動解析。</td> <td>1 周波 GNSS 受信機手動回収されたデータを事務所所持り PC の解析ソフトで手動解析。</td> <td>1 周波 GNSS 受信機手動回収されたデータを事務所所持り PC の解析ソフトで手動解析。</td> <td>1 周波 GNSS 受信機自動でインターネット上のサーバで解析作図。インターネットで結果配信。</td> </tr> <tr> <td>計測精度</td> <td>±5mm~10mm程度</td> <td>±5mm~10mm程度</td> <td>±1mm~1.5mm</td> <td>±1mm~1.5mm</td> </tr> <tr> <td>センサー費用</td> <td>買収: 数 100 万/台 損料やレンタル: 不可</td> <td>買収: 約 200 万/台 損料やレンタル: 不可</td> <td>買収: 約 200 万/台 損料やレンタル: 不可</td> <td>買収: 数 10 万/台 損料やレンタル: 2 万円/月台</td> </tr> <tr> <td>総評</td> <td>精度不足。コスト高い。自動だが、解析 PC の維持管理が面倒。</td> <td>精度不足。ややコスト高い。手動のため不可。</td> <td>精度 OK。ややコスト高い。手動のため不可。</td> <td>精度 OK。コスト比較的安価。損料・レンタルも可。自動で便利。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	従来タイプ I	従来タイプ II	従来タイプ III	Shamen-net	設置例	 例) 電の基地すべり	 例) 譲原地すべり	 例) 由比地すべり	 例) 長者地すべり	概要	測量用 GNSS 機器を流用して自動化した初期の GPS 自動計測システム。	比較的新しい GNSS 機器。ソーラ・バッテリー電源で稼動するがデータは手動回収。自動回収に変更すると別途電源・機器の増設必要。	比較的新しい GNSS 機器。ソーラ・バッテリー電源で稼動するがデータは手動回収。自動回収に変更すると別途電源・機器の増設必要。	最新の地盤変位計測用 GNSS 機器。小型・軽量・安価。現場に PC 必要なく、インターネットで結果配信される。最新の誤差処理技術で最も高精度。	データ回収	専用回線	手動回収	手動回収	電話・携帯・LAN	解析方法	スタティック測定	スタティック測定	スタティック測定 + トレンド処理 (手動)	スタティック測定 + トレンド処理 (自動)	機器仕様システム構成	1 周波 GNSS 受信機現地 PC に設置の解析ソフトで自動解析。	1 周波 GNSS 受信機手動回収されたデータを事務所所持り PC の解析ソフトで手動解析。	1 周波 GNSS 受信機手動回収されたデータを事務所所持り PC の解析ソフトで手動解析。	1 周波 GNSS 受信機自動でインターネット上のサーバで解析作図。インターネットで結果配信。	計測精度	±5mm~10mm程度	±5mm~10mm程度	±1mm~1.5mm	±1mm~1.5mm	センサー費用	買収: 数 100 万/台 損料やレンタル: 不可	買収: 約 200 万/台 損料やレンタル: 不可	買収: 約 200 万/台 損料やレンタル: 不可	買収: 数 10 万/台 損料やレンタル: 2 万円/月台	総評	精度不足。コスト高い。自動だが、解析 PC の維持管理が面倒。	精度不足。ややコスト高い。手動のため不可。	精度 OK。ややコスト高い。手動のため不可。	精度 OK。コスト比較的安価。損料・レンタルも可。自動で便利。
項目	従来タイプ I	従来タイプ II	従来タイプ III	Shamen-net																																																																																								
設置例	 例) 電の基地すべり	 例) 譲原地すべり	 例) 由比地すべり	 例) 長者地すべり																																																																																								
概要	測量用 GNSS 機器を流用して自動化した初期の GPS 自動計測システム。	比較的新しい GNSS 機器。ソーラ・バッテリー電源で稼動するがデータは手動回収。自動回収に変更すると別途電源・機器の増設必要。	比較的新しい GNSS 機器。ソーラ・バッテリー電源で稼動するがデータは手動回収。自動回収に変更すると別途電源・機器の増設必要。	最新の地盤変位計測用 GNSS 機器。小型・軽量・安価。現場に PC 必要なく、インターネットで結果配信される。最新の誤差処理技術で最も高精度。																																																																																								
データ回収	専用回線	手動回収	手動回収	電話・携帯・LAN																																																																																								
解析方法	スタティック測定	スタティック測定	スタティック測定 + トレンド処理 (手動)	スタティック測定 + トレンド処理 (自動)																																																																																								
機器仕様システム構成	1 周波 GNSS 受信機現地 PC に設置の解析ソフトで自動解析。	1 周波 GNSS 受信機手動回収されたデータを事務所所持り PC の解析ソフトで手動解析。	1 周波 GNSS 受信機手動回収されたデータを事務所所持り PC の解析ソフトで手動解析。	1 周波 GNSS 受信機自動でインターネット上のサーバで解析作図。インターネットで結果配信。																																																																																								
計測精度	±5mm~10mm程度	±5mm~10mm程度	±1mm~1.5mm	±1mm~1.5mm																																																																																								
センサー費用	買収: 数 100 万/台 損料やレンタル: 不可	買収: 約 200 万/台 損料やレンタル: 不可	買収: 約 200 万/台 損料やレンタル: 不可	買収: 数 10 万/台 損料やレンタル: 2 万円/月台																																																																																								
総評	精度不足。コスト高い。自動だが、解析 PC の維持管理が面倒。	精度不足。ややコスト高い。手動のため不可。	精度 OK。ややコスト高い。手動のため不可。	精度 OK。コスト比較的安価。損料・レンタルも可。自動で便利。																																																																																								
項目	従来タイプ I	従来タイプ II	従来タイプ III	Shamen-net																																																																																								
設置例	 例) 電の基地すべり	 例) 譲原地すべり	 例) 由比地すべり	 例) 長者地すべり																																																																																								
概要	測量用 GNSS 機器を流用して自動化した初期の GPS 自動計測システム。	比較的新しい GNSS 機器。ソーラ・バッテリー電源で稼動するがデータは手動回収。自動回収に変更すると別途電源・機器の増設必要。	比較的新しい GNSS 機器。ソーラ・バッテリー電源で稼動するがデータは手動回収。自動回収に変更すると別途電源・機器の増設必要。	最新の地盤変位計測用 GNSS 機器。小型・軽量・安価。現場に PC 必要なく、インターネットで結果配信される。最新の誤差処理技術で最も高精度。																																																																																								
データ回収	専用回線	手動回収	手動回収	電話・携帯・LAN																																																																																								
解析方法	スタティック測定	スタティック測定	スタティック測定 + トレンド処理 (手動)	スタティック測定 + トレンド処理 (自動)																																																																																								
機器仕様システム構成	1 周波 GNSS 受信機現地 PC に設置の解析ソフトで自動解析。	1 周波 GNSS 受信機手動回収されたデータを事務所所持り PC の解析ソフトで手動解析。	1 周波 GNSS 受信機手動回収されたデータを事務所所持り PC の解析ソフトで手動解析。	1 周波 GNSS 受信機自動でインターネット上のサーバで解析作図。インターネットで結果配信。																																																																																								
計測精度	±5mm~10mm程度	±5mm~10mm程度	±1mm~1.5mm	±1mm~1.5mm																																																																																								
センサー費用	買収: 数 100 万/台 損料やレンタル: 不可	買収: 約 200 万/台 損料やレンタル: 不可	買収: 約 200 万/台 損料やレンタル: 不可	買収: 数 10 万/台 損料やレンタル: 2 万円/月台																																																																																								
総評	精度不足。コスト高い。自動だが、解析 PC の維持管理が面倒。	精度不足。ややコスト高い。手動のため不可。	精度 OK。ややコスト高い。手動のため不可。	精度 OK。コスト比較的安価。損料・レンタルも可。自動で便利。																																																																																								
714	図 7.11.3 自動式低圧注入工法の施工概念図 (産業調査会, 2003)	図 7.11.3 低圧低速注入工法の施工概念図 (日本コンクリート工学協会, 2009)																																																																																										
717	—	引用文献に下記を追加。 3) 日本コンクリート工学協会 (2009): コンクリートのひび割れ調査、補修、補強指針 2013,483p.																																																																																										
9 章全体	「地質調査技師」	「地質調査技士」																																																																																										
857	積算構成は、9.1.4 積算構成 (3) 斜面对策工維持管理にかかる調査業務の構成に準ずる。	積算構成は、9.1.4 積算構成 (1) 斜面对策工維持管理にかかる技術業務の構成に準ずる。																																																																																										
860	<p>表 9.2.4 点検および点検表作成 標準歩掛 (1 施設当たり)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">細別</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">面積</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>1.0ha 未満</th> <th>1.0~5.0ha 未満</th> <th>5.0ha 以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">直接人件費</td> <td>主任技師</td> <td>人</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>技師 A</td> <td>人</td> <td>0.5</td> <td>1.5</td> <td>3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>技師 B</td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td>3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>直接経費</td> <td>消耗品費</td> <td>式</td> <td colspan="3">1.00</td> <td>直接人件費計の 7.0%</td> </tr> </tbody> </table>	種別	細別	単位	面積			摘要	1.0ha 未満	1.0~5.0ha 未満	5.0ha 以上	直接人件費	主任技師	人	0.5	1.0	2.0		技師 A	人	0.5	1.5	3.0		技師 B	人	1.0	1.5	3.0		直接経費	消耗品費	式	1.00			直接人件費計の 7.0%	<p>表 9.2.4 点検および点検表作成 標準歩掛 (1 施設当たり)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>細別</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">直接人件費</td> <td>主任技師</td> <td>人</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>技師 A</td> <td>人</td> <td>0.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>技師 B</td> <td>人</td> <td>0.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>直接経費</td> <td>消耗品費</td> <td>式</td> <td>1.0</td> <td>直接人件費計の 7%</td> </tr> </tbody> </table>	種別	細別	単位	数量	摘要	直接人件費	主任技師	人	0.1		技師 A	人	0.4		技師 B	人	0.4		直接経費	消耗品費	式	1.0	直接人件費計の 7%																															
種別	細別				単位	面積			摘要																																																																																			
		1.0ha 未満	1.0~5.0ha 未満	5.0ha 以上																																																																																								
直接人件費	主任技師	人	0.5	1.0	2.0																																																																																							
	技師 A	人	0.5	1.5	3.0																																																																																							
	技師 B	人	1.0	1.5	3.0																																																																																							
直接経費	消耗品費	式	1.00			直接人件費計の 7.0%																																																																																						
種別	細別	単位	数量	摘要																																																																																								
直接人件費	主任技師	人	0.1																																																																																									
	技師 A	人	0.4																																																																																									
	技師 B	人	0.4																																																																																									
直接経費	消耗品費	式	1.0	直接人件費計の 7%																																																																																								
866	「(1) 水路工詳細調査 1 (目視点検)」	「(1) 水路工詳細調査 1 (詳細点検)」																																																																																										
866	「(1) 水路工の目視点検及び変状計測」	「(1) 水路工の詳細点検」																																																																																										

頁	誤	正
866	「表 9.3.3 水路工調査委調査 1 - 目視点検及び変状計測 標準歩掛」	「表 9.3.3 水路工調査委調査 1 - 詳細点検 標準歩掛」
866	「2) 水路工詳細調査結果の整理と劣化診断」	「2) 水路工詳細点検結果の整理と劣化診断」
866	「3) 水路工総合判定」	「3) 水路工詳細点検の総合判定」
868	「(1) 横ボーリング工詳細調査 1 (目視点検)」	「(1) 横ボーリング工詳細調査 1 (詳細点検)」
868	「1) 横ボーリング工の目視点検及び変状計測」	「1) 横ボーリング工の詳細点検」
868	「表 9.3.9 横ボーリング工調査委調査 1 - 目視点検及び変状計測 標準歩掛」	「表 9.3.9 横ボーリング工調査委調査 1 - 詳細点検 標準歩掛」
868	「2) 横ボーリング工詳細調査結果の整理と劣化診断」	「2) 横ボーリング工詳細点検結果の整理と劣化診断」
868	「(1) 横ボーリング工詳細調査 1 (目視点検)」	「(1) 横ボーリング工詳細調査 1 (詳細点検)」
869	「3) 横ボーリング工総合判定」 「表 9.3.11 横ボーリング工詳細調査 1 - 総合判定 標準歩掛」	3) の項目を削除。よって表 9.3.11 も削除。 総合判定の歩掛は表 9.3.17 を使用する。
870	表 9.3.14 の雑品の摘要 「上記材料費の 7%」	表 9.3.14 の雑品の摘要 「上記材料費の 5%」
871	「(4) 横ボーリング工詳細調査の総合評価」	「(4) 横ボーリング工詳細調査の総合判定」
871	上から 2 行目 「詳細調査結果に基づいて総合評価表を取りまとめ・・・」	上から 2 行目 「詳細調査結果に基づいて総合判定表を取りまとめ・・・」
874	「(2) 集水井工詳細調査 1 (井内目視点検)」	「(2) 集水井工詳細調査 1 (詳細点検)」
874	「表 9.3.26 集水井工詳細調査 1 - 排水ボーリング点検調査 標準歩掛 (1 箇所当たり)」	「表 9.3.26 集水井工詳細調査 1 - 排水ボーリング点検調査 標準歩掛 (1 孔当たり)」
875	「2) 詳細調査 1 点検結果の整理と劣化診断」	「2) 詳細点検結果の整理と劣化診断」
877	「2) 集水井内カメラ調査 (井筒観察用カメラ)」	「2) 集水井内カメラ調査 (井筒カメラ観察)」
877	「表 9.3.32 集水井工詳細調査 3 - 井筒観察用カメラ 標準歩掛 深度 10m 当たり」	「表 9.3.32 集水井工詳細調査 3 - 井筒カメラ観察 標準歩掛 深度 10m 当たり」
877	「(5) 集水井工詳細調査 4 - 井内集水ボーリング孔内カメラ調査」	「(5) 集水井工詳細調査 4 - 孔内カメラ調査」
877	「2) 井内集水ボーリング孔内カメラ調査」	「2) 孔内カメラ調査」
877	「表 9.3.34 集水井工詳細調査 4 - 井内集水ボーリング孔内カメラ調査 標準歩掛 (1 段当たり)」	「表 9.3.34 集水井工詳細調査 4 - 孔内カメラ調査 標準歩掛 (1 段当たり)」
878	「3) 井内集水ボーリング孔内カメラ調査結果の整理と劣化診断」	「2) 孔内カメラ調査結果の整理と劣化診断」

頁	誤	正																																																			
878	表 9.3.36 の雑品の摘要 「上記材料費の 7%」	表 9.3.36 の雑品の摘要 「上記材料費の 5%」																																																			
878	表 9.3.37 の雑品の摘要 「上記材料費の 7%」	表 9.3.37 の雑品の摘要 「上記材料費の 5%」																																																			
878	表 9.3.37 の労務費の欠落、注釈の文章変更 <table border="1" data-bbox="331 481 837 622"> <caption>表 9.3.37 集水井工詳細調査5-水質分析 標準歩掛 (10坑料当たり)</caption> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>細別</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">人件費</td> <td>地質調査技師</td> <td>人</td> <td>0.30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主任地質調査員</td> <td>人</td> <td>2.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材料費</td> <td>ポータブル型水質測定器</td> <td>日</td> <td>2.00</td> <td>日供用損料</td> </tr> <tr> <td>雑品</td> <td>式</td> <td>1.00</td> <td>上記材料費の 7%</td> </tr> </tbody> </table> <small>※検査機関による室内定量分析は、当歩掛によらず、分析イオン毎に市場単価にて積算（一般調査）する。</small>	種別	細別	単位	数量	摘要	人件費	地質調査技師	人	0.30		主任地質調査員	人	2.00		材料費	ポータブル型水質測定器	日	2.00	日供用損料	雑品	式	1.00	上記材料費の 7%	表 9.3.37 の労務費の追記、注釈の文章変更「分析イオン毎に」→「分析項目毎に」 <table border="1" data-bbox="869 481 1444 622"> <caption>表 9.3.37 集水井工詳細調査5-水質分析 標準歩掛 (10坑料当たり)</caption> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>細別</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">人件費</td> <td>地質調査技師</td> <td>人</td> <td>0.30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主任地質調査員</td> <td>人</td> <td>2.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>労務費</td> <td>トンネル作業員</td> <td>人</td> <td>1.00</td> <td>井内作業により適用</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材料費</td> <td>ポータブル型水質測定器</td> <td>日</td> <td>2.00</td> <td>日供用損料</td> </tr> <tr> <td>雑品</td> <td>式</td> <td>1.00</td> <td>上記材料費の 5%</td> </tr> </tbody> </table> <small>※検査機関による室内定量分析は、当歩掛によらず、分析項目毎に市場単価にて積算（一般調査）する。</small>	種別	細別	単位	数量	摘要	人件費	地質調査技師	人	0.30		主任地質調査員	人	2.00		労務費	トンネル作業員	人	1.00	井内作業により適用	材料費	ポータブル型水質測定器	日	2.00	日供用損料	雑品	式	1.00	上記材料費の 5%
種別	細別	単位	数量	摘要																																																	
人件費	地質調査技師	人	0.30																																																		
	主任地質調査員	人	2.00																																																		
材料費	ポータブル型水質測定器	日	2.00	日供用損料																																																	
	雑品	式	1.00	上記材料費の 7%																																																	
種別	細別	単位	数量	摘要																																																	
人件費	地質調査技師	人	0.30																																																		
	主任地質調査員	人	2.00																																																		
労務費	トンネル作業員	人	1.00	井内作業により適用																																																	
材料費	ポータブル型水質測定器	日	2.00	日供用損料																																																	
	雑品	式	1.00	上記材料費の 5%																																																	
880	「(2) 排水トンネル工の詳細調査 1」	「(2) 排水トンネル工の詳細調査 1 (詳細点検)」																																																			
882	「表 9.3.45 詳細調査の総合判定 標準歩掛 (1坑当たり)」	「表 9.3.45 詳細点検の総合判定 標準歩掛 (1坑当たり)」																																																			
882	「(3) 排水トンネル工の詳細調査 2」	「(3) 排水トンネル工の詳細調査 2 (検尺棒計測)」																																																			
882	「1) 集水ボーリング詳細調査」	「1) 検尺棒計測」																																																			
882	上から 7 行目 「集水ボーリング詳細調査は、排水トンネル内から検尺棒を・・・」	上から 7 行目 「検尺棒計測は、排水トンネル内から検尺棒を・・・」																																																			
882	「表 9.3.46 集水ボーリング詳細調査 標準歩掛 (10孔当たり)」	「表 9.3.46 検尺棒計測 標準歩掛 (10孔当たり)」																																																			
883	「2) 詳細調査結果の整理と劣化診断」	「2) 検尺棒計測結果の整理と劣化診断」																																																			
883	上から 2 行目 「詳細調査結果の整理と劣化診断は、集水ボーリング詳細調査結果を詳細調査表に記録し、・・・」	上から 2 行目 「結果の整理と劣化診断は、検尺棒計測結果を詳細調査表に記録し、・・・」																																																			
883	表 9.3.48 調査種の組み合わせによる補正 (1ブロック当たり)	表 9.3.48 調査種の組み合わせによる補正 (1坑当たり)																																																			
883	「(6) 総合判定」	「(6) 排水トンネル工詳細調査の総合判定」																																																			
884	「(2) 鋼管杭詳細調査 1」	「(2) 鋼管杭工詳細調査 1 (詳細点検)」																																																			
885	「2) 詳細調査 1 の結果整理と劣化診断」	「2) 詳細点検の結果整理と劣化診断」																																																			
884	上から 2 行目 「詳細調査 1 の結果整理は・・・」	上から 2 行目 「詳細点検の結果整理は・・・」																																																			
884	「3) 詳細調査の総合判定」	「3) 詳細点検の総合判定」																																																			
884	「表 9.3.52 詳細調査の総合判定 標準歩掛 (1群当たり)」	「表 9.3.52 詳細点検の総合判定 標準歩掛 (1群当たり)」																																																			
887	「(4) 総合判定」	「(4) 鋼管杭工詳細調査の総合判定」																																																			
887	「表 9.3.55 総合評価判定 標準歩掛 (1群当たり)」	「表 9.3.55 鋼管杭工詳細調査の総合判定 標準歩掛 (1群当たり)」																																																			
888	「(2) シャフト工詳細調査 1 (シャフト工詳細点検)」	「(2) シャフト工詳細調査 1 (詳細点検)」																																																			
889	「3) 詳細調査の総合判定」	「3) 詳細点検の総合判定」																																																			
889	「表 9.3.59 詳細調査の総合判定 標準歩掛 (1群当たり)」	「表 9.3.59 詳細点検の総合判定 標準歩掛 (1群当たり)」																																																			

その4 (平成 29 年 11 月 24 日現在)

頁	誤	正
889	「(3) シャフト工詳細調査 2 (シャフト頭部変位測量調査)」	「(3) シャフト工詳細調査 2 (頭部変位測量)」
889	「1) シャフト頭部変位測量調査」	「1) 頭部変位測量」
889	上から 7 行目 「シャフト頭部変位測量調査は、シャフト頭部変位方向等を・・・」	上から 7 行目 「頭部変位測量は、シャフト頭部変位方向等を・・・」
889	「表 9.3.60 シャフト頭部変位測量調査標準歩掛 (1 施設当たり)」	「表 9.3.60 頭部変位測量 標準歩掛 (1 施設当たり)」
890	「(4) 総合評価判定」	「(4) シャフト工詳細調査の総合判定」
890	「表 9.3.62 総合評価判定 標準歩掛 (1 群当たり)」	「表 9.3.62 シャフト工詳細調査の総合判定 標準歩掛 (1 群当たり)」
895	上から 3 行目 「・・・試験終了地検から・・・」	上から 3 行目 「・・・試験終了地点から・・・」
895	表 9.3.74 のリフトオフ試験の雑品の摘要 「人件費+労務費計の 5%」	表 9.3.74 のリフトオフ試験の雑品の摘要 「人件費+労務費計の 50%」
916	表 9.4.39 の表番号及びタイトルが無い。	下記の表番号及びタイトルを追記。 「表 9.4.39 頭部緊張力観測一データ集積 標準歩掛 (10 本当たり)」

以上.